キッチンから、笑顔をつくろう

27年3月期　中間決算説明資料

2026年11月19日

会社概要

人と暮らしの未来を拓く、システムキッチンのパイオニア

システムキッチン



バスルーム

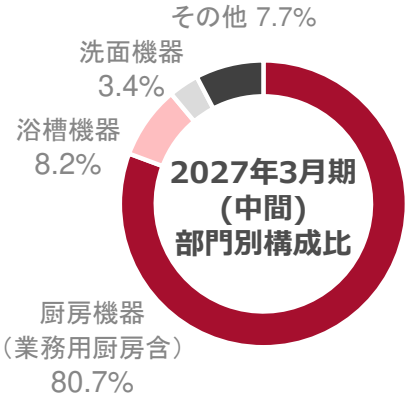


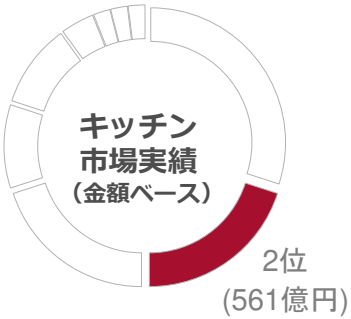
洗面化粧台



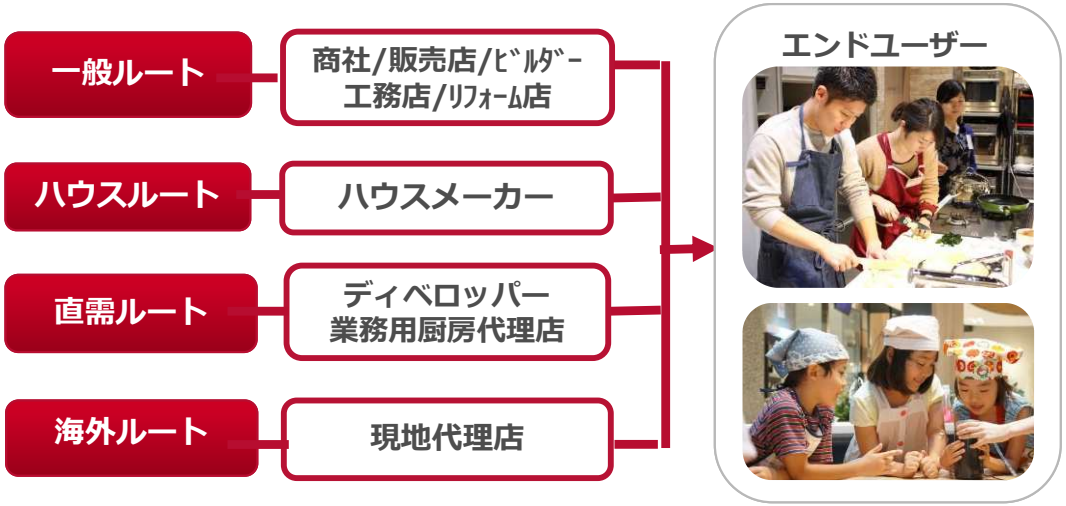
業務用厨房機器







多彩な販売ルートを通じて住宅設備機器を提供



商号	クリナップ株式会社
英文社名	Cleanup Corporation
本社	東京都荒川区西日暮里６丁目22番22号
創業	1949年10月5日
社長執行役員	藤原 亨
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場（7955）
売上高	1,344億円（2026年3月期）
社員数	3,496名（連結／2026年9月30日現在）

I. 決算の概要

1．決算の概要①

		前年同期比
売上高	696億円	＋ 6.4％

「リフォーム大賞2026」のキッチン部門において5年連続で総合1位となった中高級価格帯システムキッチン「ＳＴＥＤＩＡ」を中心に販売が堅調に推移したことに加え、関連機器等の販売価格改定による単価アップもあり、前年同期比で増収となった。

営業利益	18億円	＋ 37.0％
経常利益	21億円	＋ 28.6％
親会社株主に帰属する中間純利益	13億円	＋ 33.8％

原材料価格や物流費、人件費等の上昇が継続する中、中高級価格帯商品の販売伸長や単価アップ等による増収効果に加え、原価低減施策を推進したことで、売上総利益額が増加し、販管費の増加を吸収した結果、前年同期比で増益となった。

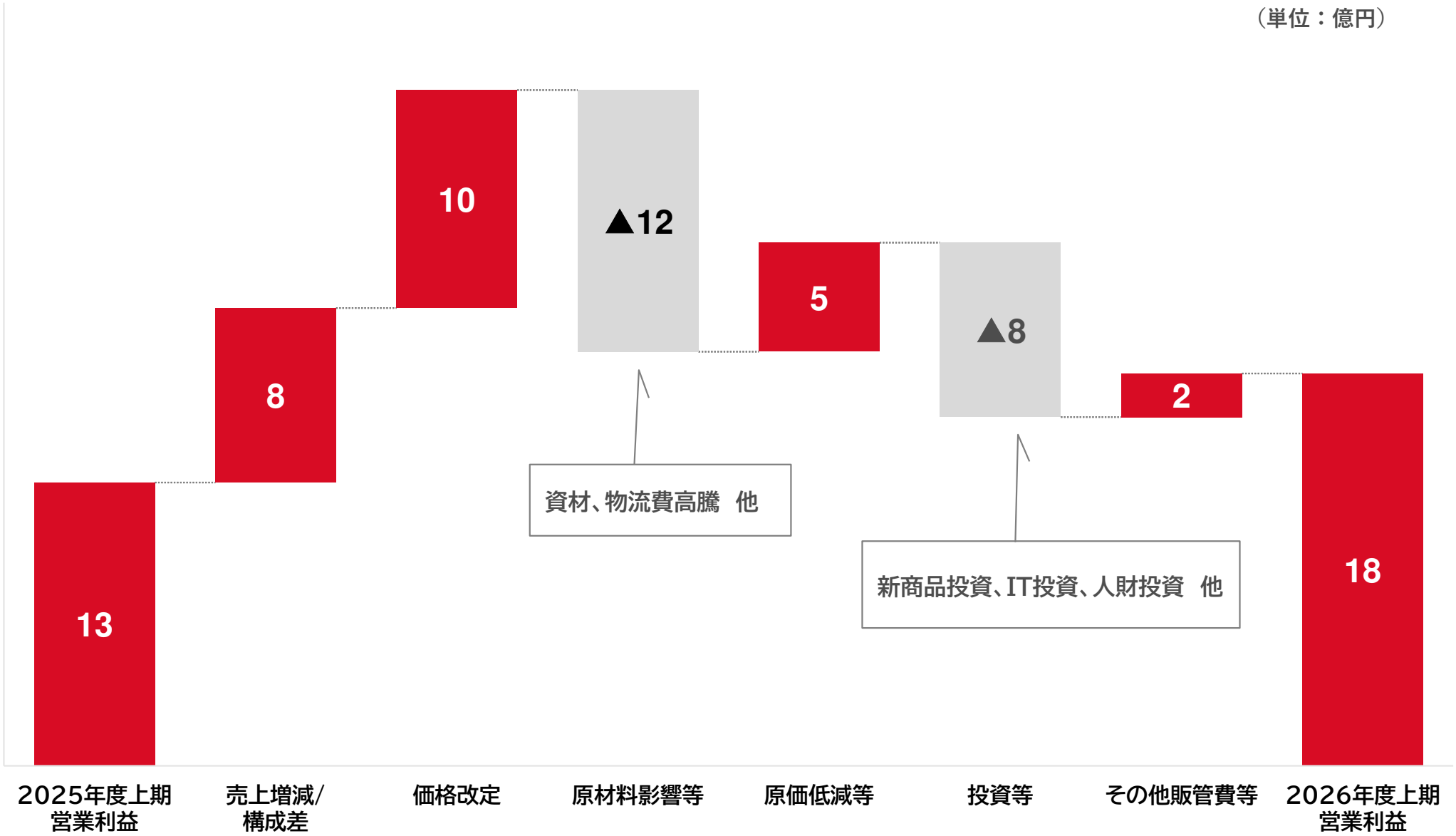
1．決算の概要②

（単位：億円）

	2025年9月期		2026年9月期			
	金額	売上構成比	金額	売上構成比	増減額	増減率
売上高	654	100.0%	696	100.0%	＋41	＋6.4%
売上総利益	213	32.6%	224	32.3%	＋11	＋5.6%
販売費及び一般管理費	199	30.5%	206	29.6%	＋6	＋3.4%
営業利益	13	2.1%	18	2.7%	＋5	＋37.0%
経常利益	16	2.5%	21	3.1%	＋4	＋28.6%
親会社株主に帰属する中間（当期）純利益	10	1.5%	13	1.9%	＋3	＋33.8%

2．連結損益の状況　①営業利益の増減要因

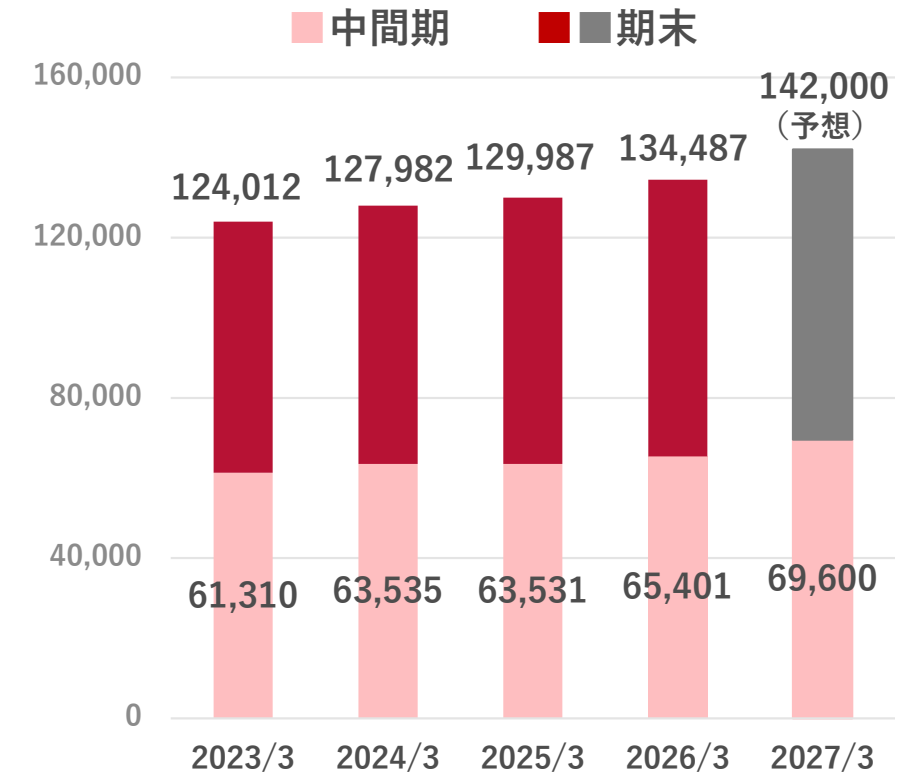
（単位：億円）



2．連結損益の状況　②売上高・営業利益

（単位：百万円）

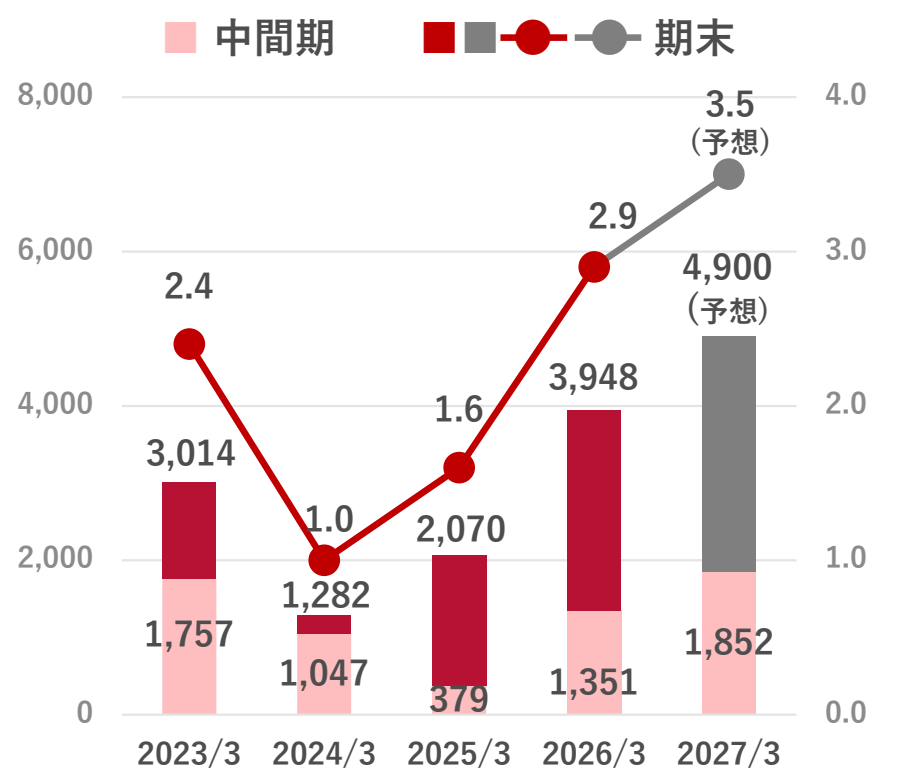
売上高



23/3期以降は原材料価格高騰等を受けて実施した販売価格改定と厨房部門の需要開拓等で売上成長を確保。今中間期においては中高級価格帯商品販売が堅調に推移し、セット単価の上昇もあり、増収となった。

（単位：百万円）

営業利益･営業利益率

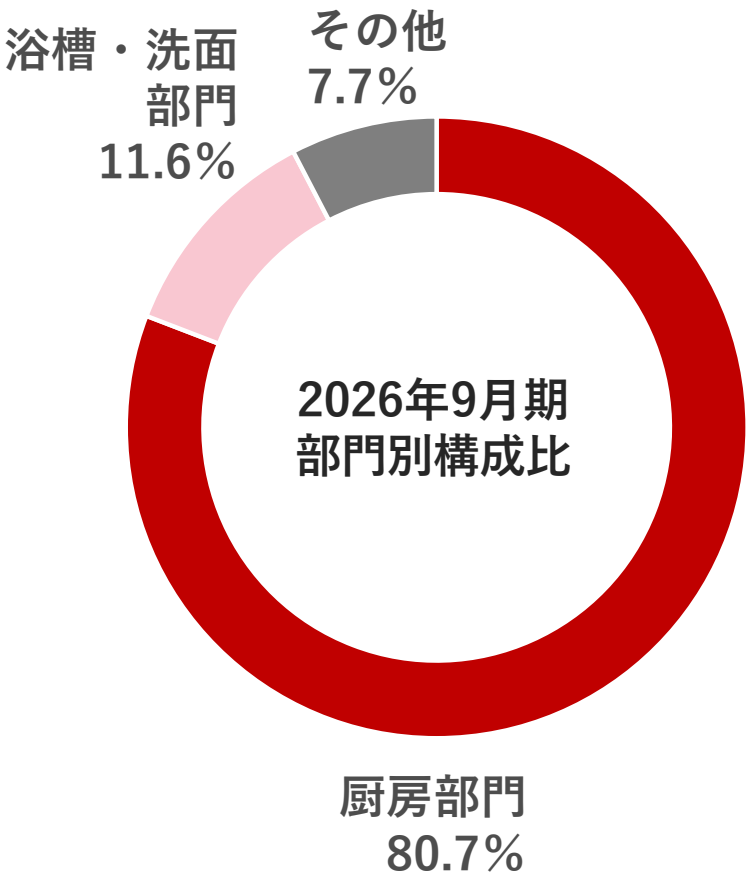


原材料等の高騰や物流費、人件費等の増加が継続するなか、販売価格改定効果の顕在化、原価低減施策推進、販管費の増加抑止等を行ってきたことにより、直近では増益基調となっている。

3．売上構成　①部門別（連結）

（単位：億円）

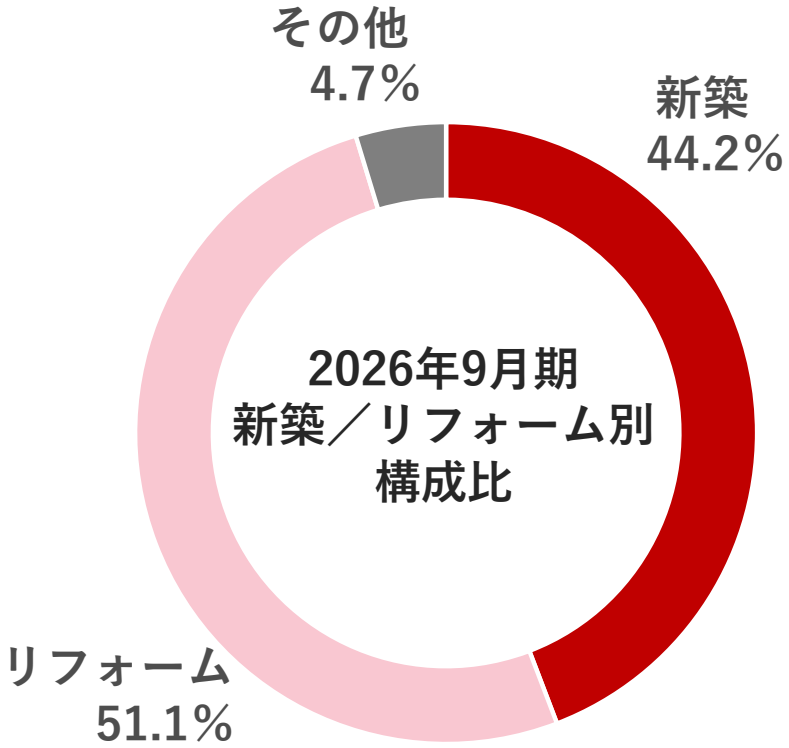
	2025年9月期		2026年9月期	
	金額	構成比	金額	構成比
厨房部門	525	80.4%	561	80.7%
浴槽・洗面部門	76	11.7%	80	11.6%
その他	51	7.9%	53	7.7%



3．売上構成　②新築／リフォーム別（連結）

（単位：億円）

	2025年9月期		2026年9月期	
	金額	構成比	金額	構成比
新築	281	43.0%	307	44.2%
リフォーム	340	52.1%	355	51.1%
その他	32	4.9%	33	4.7%



4．連結貸借対照表の概要

（単位：百万円）

		2026年3月末	2026年9月末	増減	主な要因
資産	流動資産	56,637	57,367	＋730	現金及び預金△522 受取手形、売掛金及び契約資産+921 商品及び製品+261
	固定資産	36,803	37,164	＋360	有形固定資産△522 無形固定資産＋312 投資その他の資産＋570
資産合計		93,440	94,532	＋1,091	
負債	流動負債	23,857	24,650	＋792	買掛金＋381 電子記録債務△151 短期借入金＋664 未払法人税等△138
	固定負債	9,139	8,450	△688	長期借入金△767
負債合計		32,996	33,100	＋103	
純資産		60,444	61,431	＋987	中間純利益＋1,344 配当金支払△705 その他有価証券評価差額金＋282
負債純資産合計		93,440	94,532	＋1,091	

5．連結キャッシュ・フロー計算書の概要

（単位：百万円）

	2025年9月期	2026年9月期	主な要因
現金及び現金同等物の期首残高	18,767	19,375	
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,359	1,900	税金等調整前中間純利益＋2,115 減価償却費＋2,173、仕入債務の増加+230 棚卸資産の増加△345、売上債権の増加△703 法人税等の支払△885
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,736	△1,530	有形固定資産の取得△860 無形固定資産の取得△688
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,305	△964	長期借入金の返済△1,602 配当金の支払△705 短期借入金の純増＋1,500
現金及び現金同等物の中間期末残高	17,015	18,853	

6．設備投資の状況(連結)

主な設備投資の内容

2026年9月期の実績

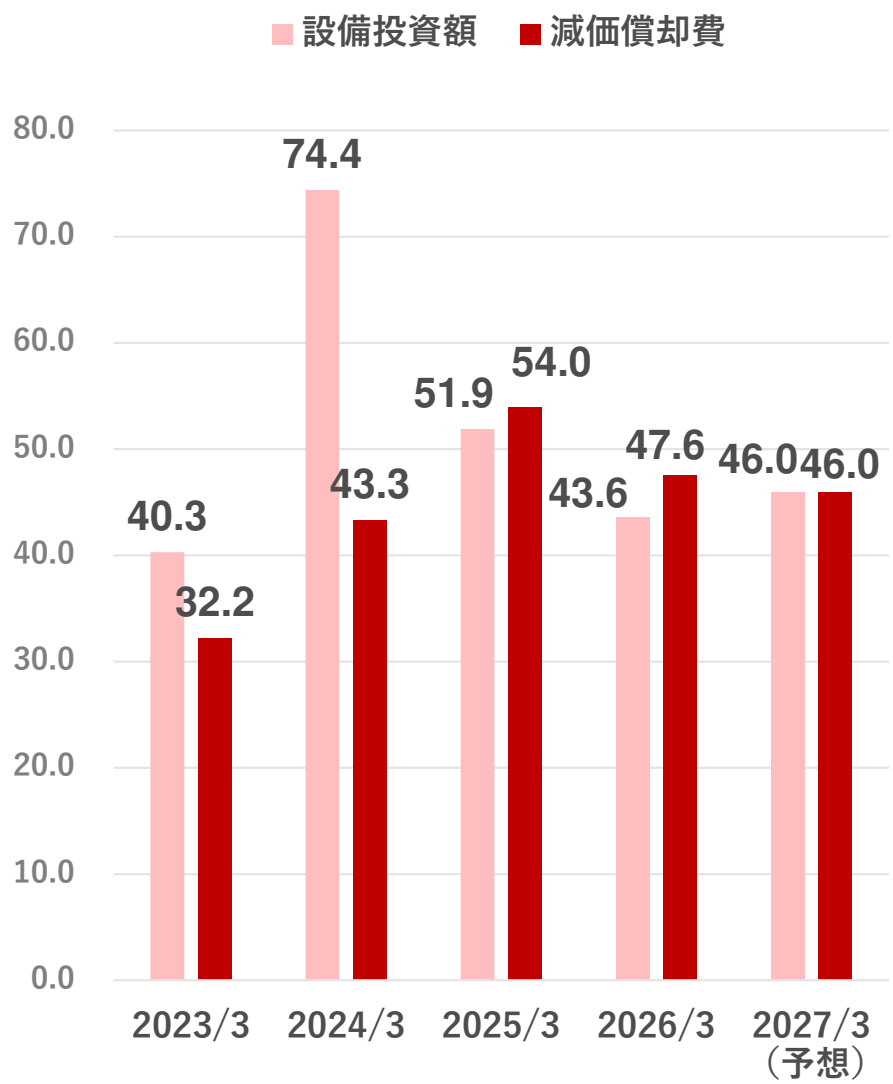
①生産関係	5.2億円
②営業関係	1.8億円
③ESG関係	1.2億円
④情報関係	11.7億円
⑤その他	0.6億円

2027年3月期の年間計画

①生産関係	15.6億円
②営業関係	5.7億円
③ESG関係	1.5億円
④情報関係	21.3億円
⑤その他	1.9億円

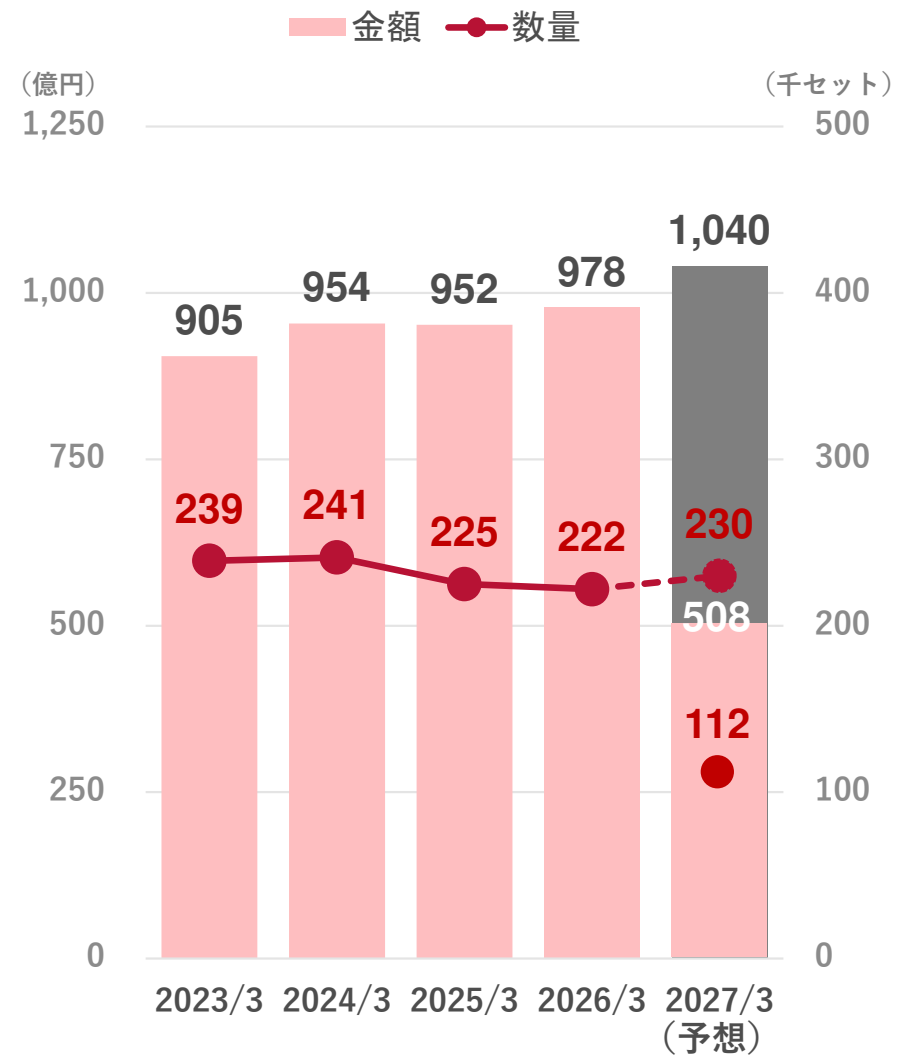
設備投資額と減価償却費の推移

（単位：億円）

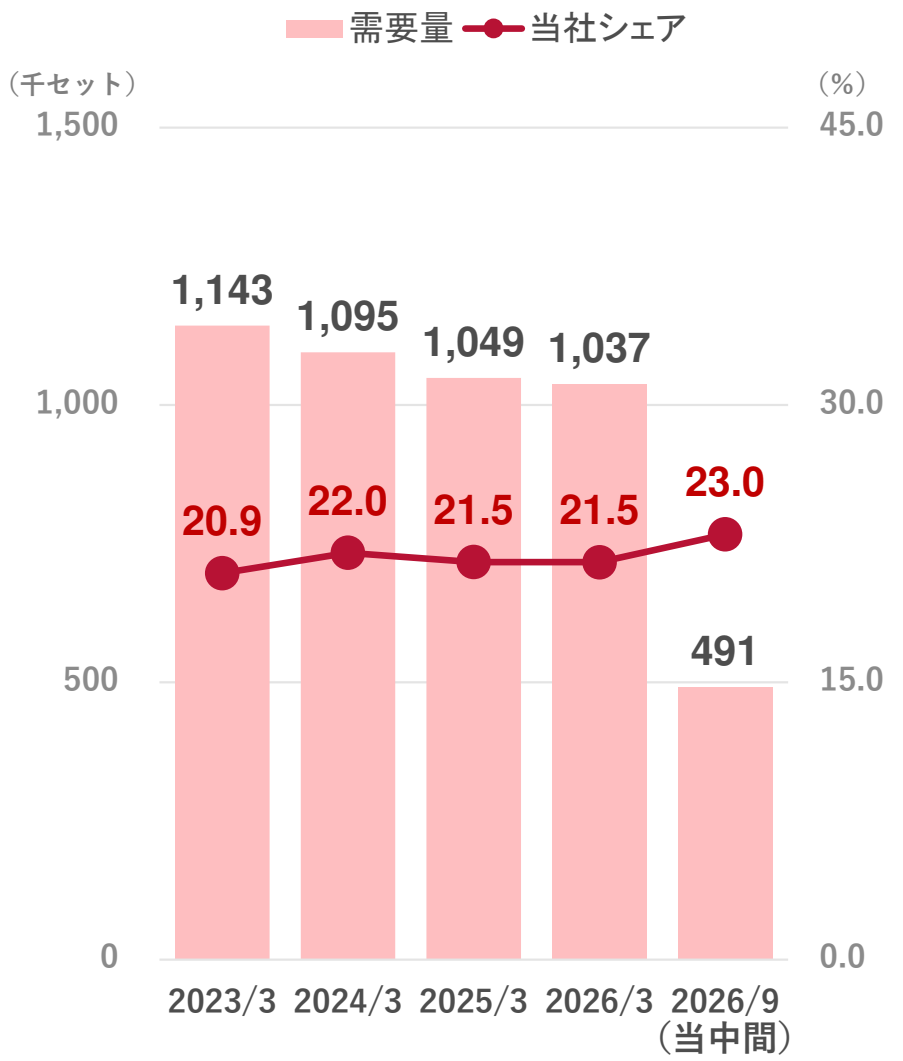


7．主要商品の販売実績と当社シェア　①システムキッチン

システムキッチンの販売実績

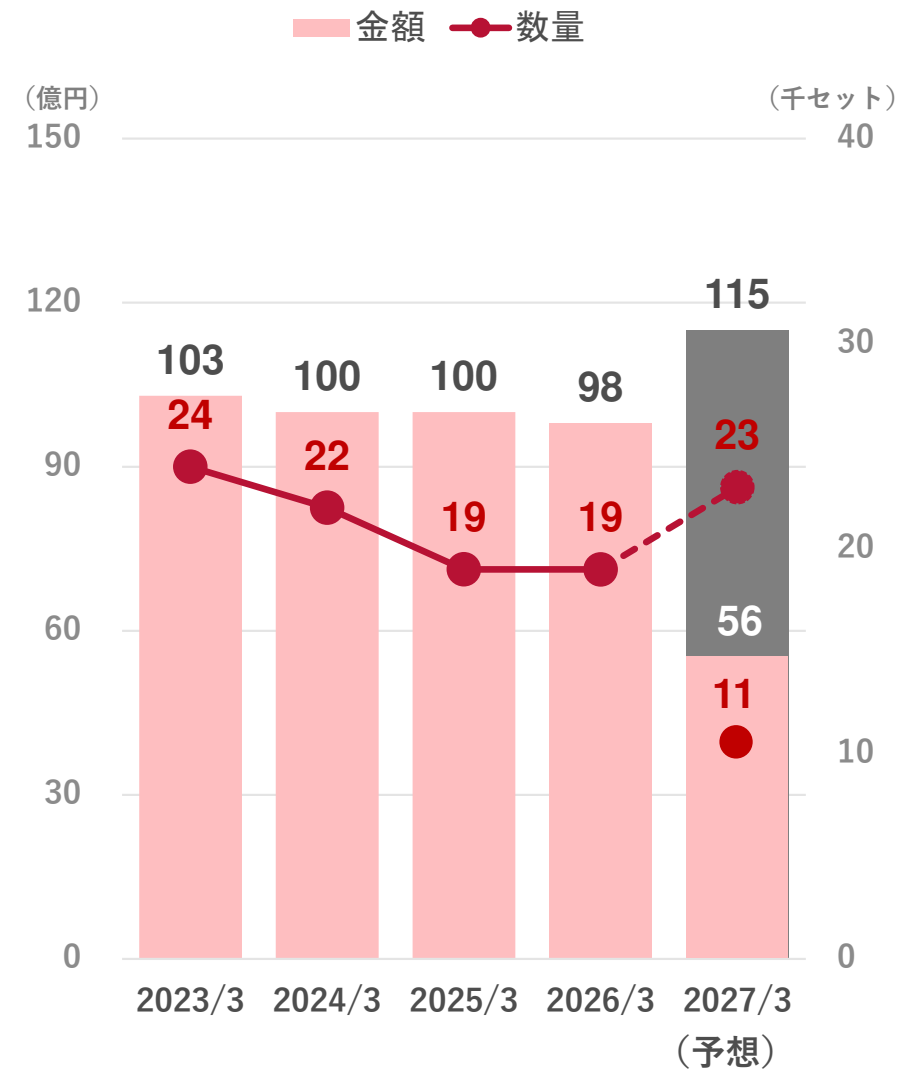


同商品需要動向と当社シェア

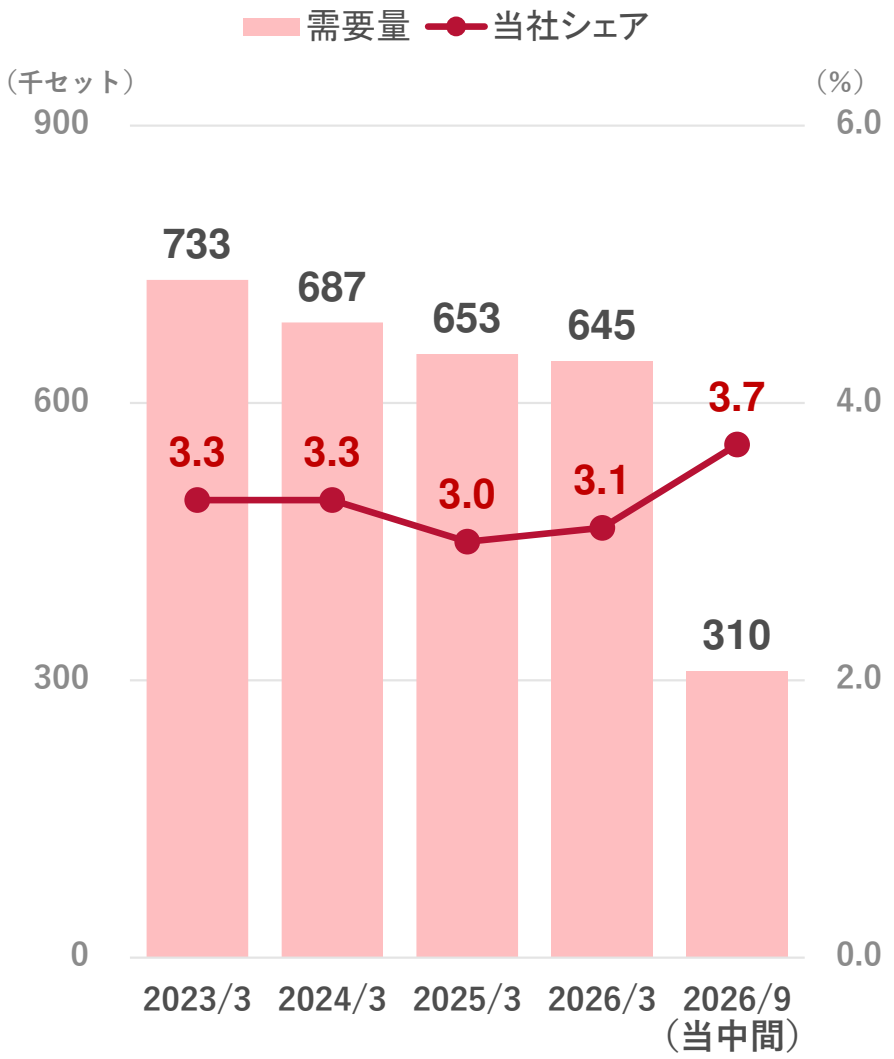


7．主要商品の販売実績と当社シェア　②システムバスルーム

システムバスルームの販売実績

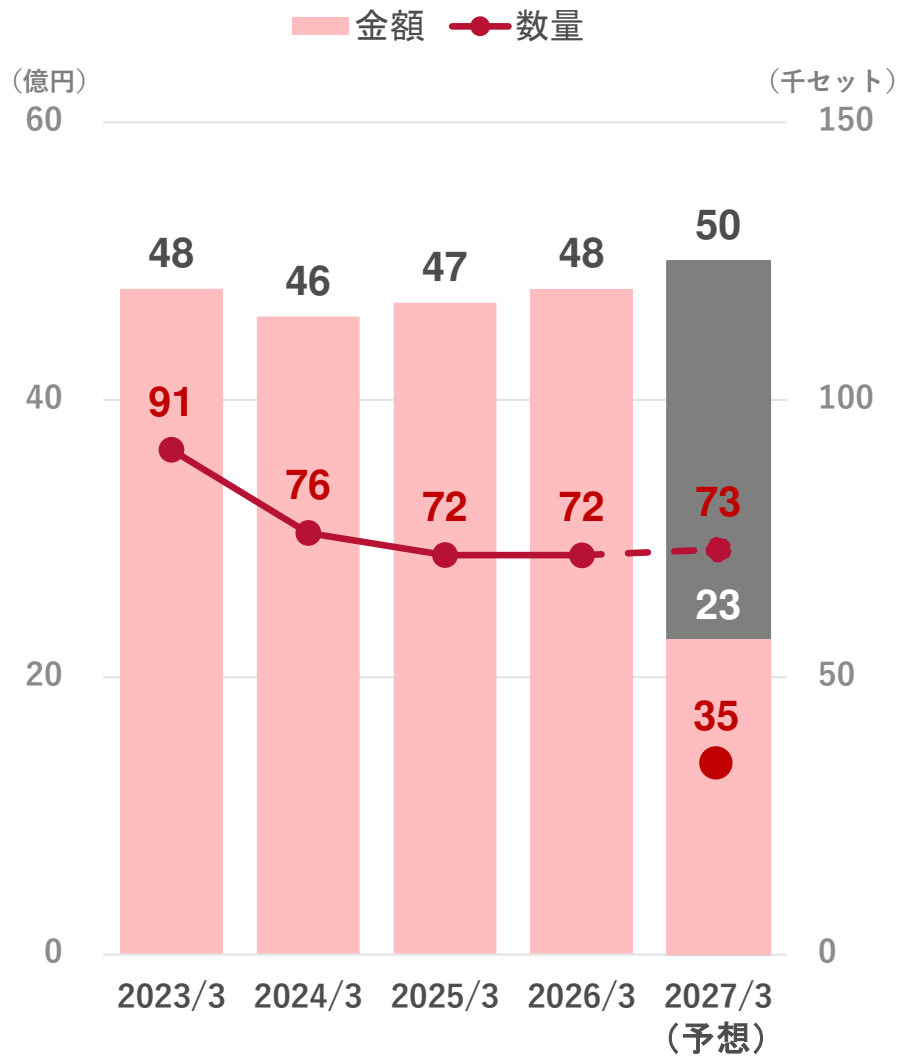


同商品需要動向と当社シェア

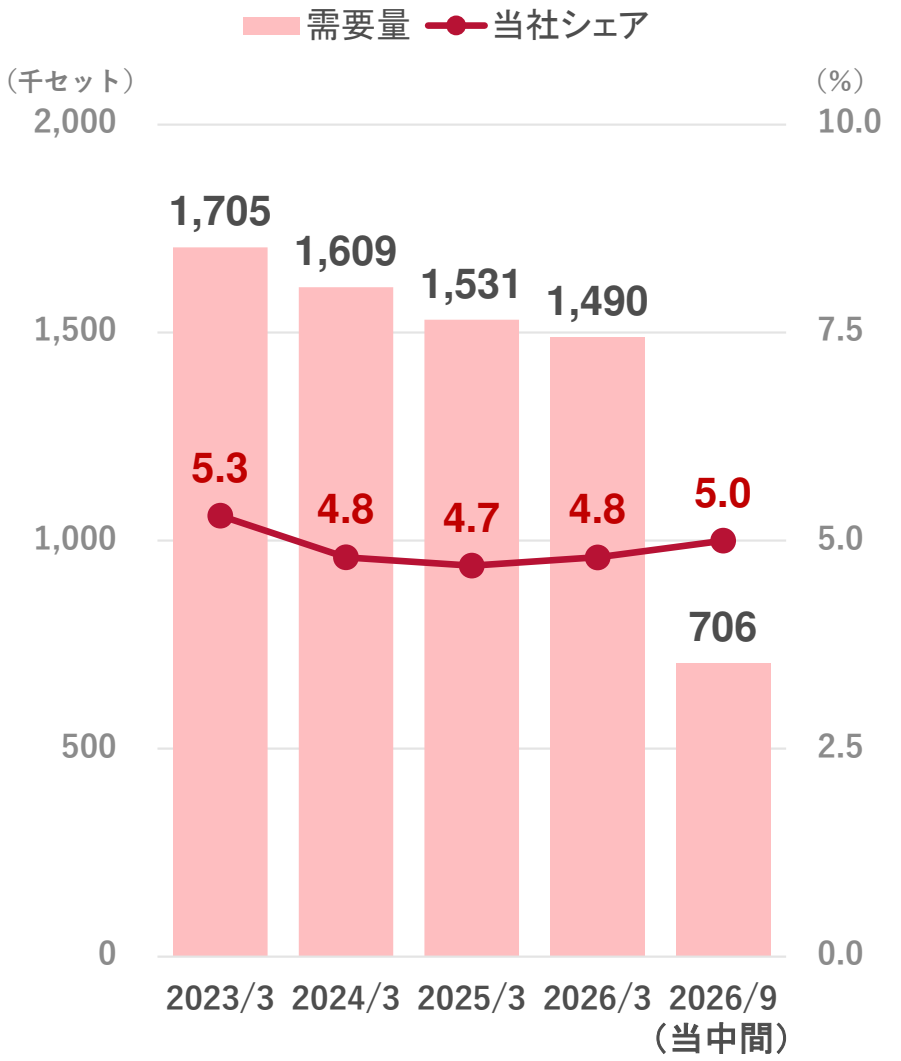


7．主要商品の販売実績と当社シェア　③洗面化粧台

洗面化粧台の販売実績



同商品需要動向と当社シェア



8．2027年3月期　連結業績予想

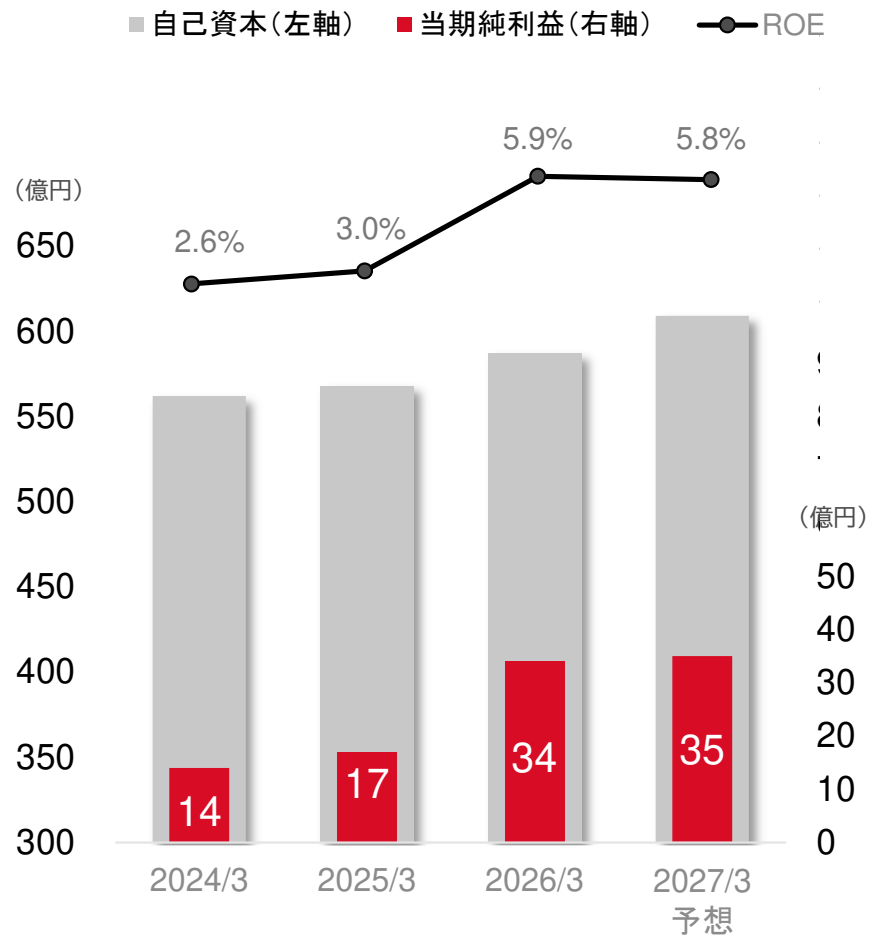
（単位：億円）

	2026年3月期	2027年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	1,344	1,420	＋75	＋5.6%
売上総利益	442	466	＋23	＋5.4%
販売費及び一般管理費	402	417	＋14	＋3.5%
営業利益	39	49	＋9	＋24.1%
経常利益	44	53	＋8	＋20.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	34	35	＋0	＋2.1%

（注）予想数値は、中東地域での地政学リスクに伴う原材料／資材価格の上昇影響を見込む一方、10月から実施の販売価格改定効果に加え、原価低減及び販管費抑制等の削減効果を織り込んだ結果、当初公表数値から変更はありません。 さらなる調達価格への影響や市場環境の変化、事業の進捗状況を注視し、業績予想数値に重要な影響を与える場合には、速やかに開示をいたします。

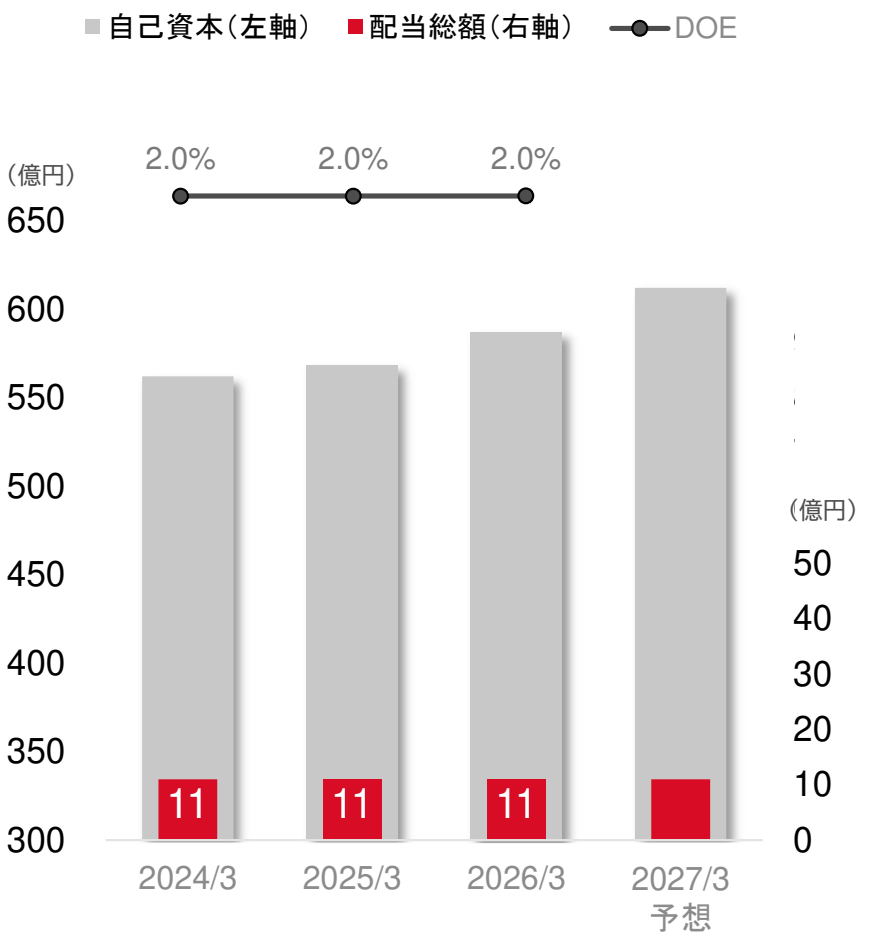
9．利益還元の状況と計画

ROE（自己資本利益率）の推移と計画



●24中計の取組を通じてROEを改善、
PBRの向上を目指す。

株主還元方針



●安定的な配当をベースに株主還元を強化

●適宜適切な自己株式の取得・消却

Ⅱ.トピックス

商品関連

当社2商品が、リフォーム大賞キッチン部門で総合1位と2位を獲得

プロがおすすめしたい住宅設備
キッチン部門

リフォーム営業マン・プランナーが選ぶ設備建材
リフォーム大賞2026
主催:リフォーム産業新聞　調査対象:リフォーム事業者

STEDIA
ステディア

5年連続 総合1位！

湿気やニオイに強いステンレスをキャビネットにまで採用するなど、使いやすさとお手入れのしやすさが評価されました。



2025年のリニューアルで誕生した朝日ウッドテック社との共同開発による天然木ワークトップ。
風合いと感触が魅力です。

選ばれる理由

rakuera
ラクエラ

総合2位！

1位と20ポイントの僅差で「ラクエラ」が入賞。家具のように空間になじむデザインが特長。木や石の質感を再現した扉をはじめ、取手やレンジフードも豊富なカラーから選べます。

選ばれる理由

普及価格帯でありながら、家具調にこだわったデザイン、収納力、手入れのしやすさの三拍子が揃っています。



商品関連

コンパクトキッチン「コルティ」をリニューアル

「キッチンで選ばれる部屋」をコンセプトに、デザイン強化。 2026年10月6日より受注開始

【コルティのブランドポジション】
マンション、アパートなどの賃貸物件や戸建て住宅等の新築・リフォームに広く対応するコンパクトキッチン

【今回のリニューアルポイント】
リビングのインテリアと美しく調和する洗練された色柄やデザインのバリエーションを豊富に揃え、Webサイトでの“写真映え”を通じて、入居希望者への訴求力をアップ

「ワークトップスリムタイプ」が登場

業界に先駆けて、「ワークトップスリムタイプ」をコンパクトキッチンに採用し、薄型のワークトップがキッチン全体の印象をスタイリッシュに演出。



スタイリッシュで、コンパクトな「縦型2口加熱機器」を導入

狭い調理スペースを生かせる、スタイリッシュな省スペース加熱機器2機種を新たに導入。縦型2口タイプなので、使い勝手はそのままに、小さい間口でも作業スペースを確保可能。





食器や調理器具の出し入れがしやすい「フレーミーシェルフ」

日常使いの食器や日用品などを、手の届きやすい場所に収納することができる「フレーミーシェルフ」を新たにラインナップ。調理中の一時置き場としても活躍。

洗面化粧台「ELVITA(エルヴィータ)」をリニューアル

大間口ミラーをラインナップし、2026年6月1日より受注開始

ELVITA
エルヴィータ

リニューアル ポイント
「自由な発想で憧れの空間を実現できる洗面化粧台」というコンセプトはそのままに、デザイン力、提案力を強化

大間口プランの魅力向上

- ▶新たにラインナップした収納付きフル1面鏡と3面鏡を新たに追加。この組合せで、120㎝以上の大間口でのミラー提案が可能に
- ▶扉カラーと同色のフレームを採用した大間口ミラーをラインナップ

デザイン性の更なる進化

- ▶取手レス仕様が加わり、よりすっきりとしたスタイリッシュなデザインの選択が可能に
- ▶フロートタイプには、キャビネットと同色のカバーで配管を隠す「配管キ ャビネット」が登場



配管キャビネットを採用したフロートタイプ



収納付きフル 1 面鏡とフル 3 面鏡の組み合わせ例



フレームミラーと棚板収納オープンキャビネット、取手レス扉を採用した組み合わせ例

販促・ブランディング関連

秋の「びっクリナップ！フェア」

全国ショールームにて、2026年10月1日～31日の1か月間開催

新規顧客開拓に向けた来場促進施策

ショールームに初めて来場する方を対象とした期間限定キャンペーンを実施



クリナップ公式ホームページからショールームへの来場をWeb予約し、キャンペーン期間中に初回来場した方の中から「特撰美食ギフト」をプレゼント



サステナビリティ関連

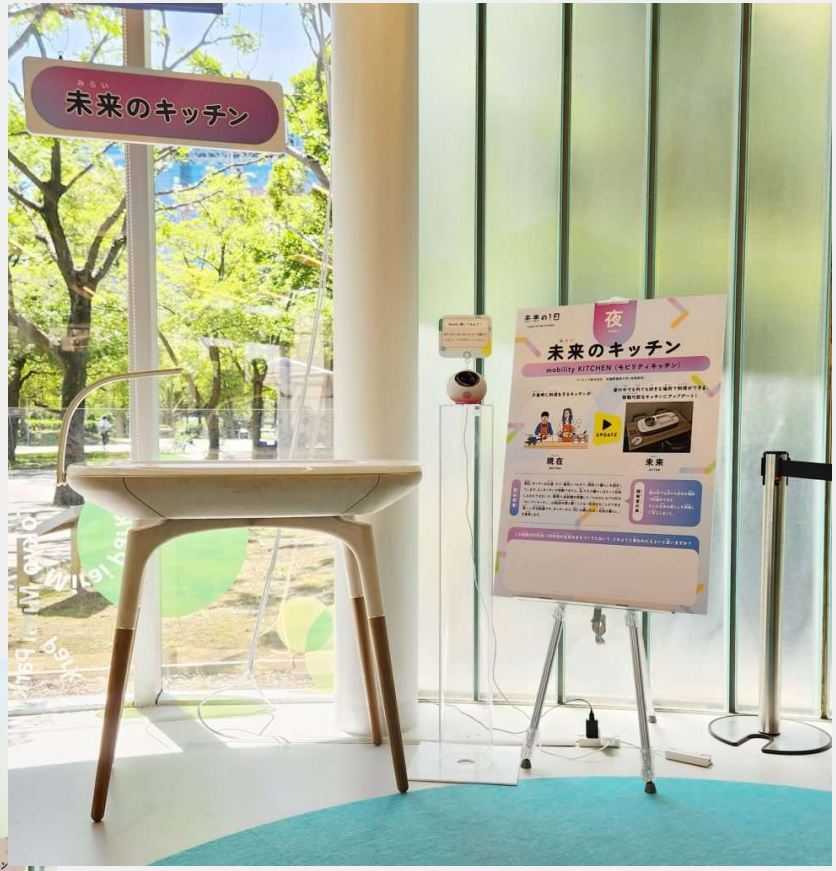
『mobility KITCHEN』を国内初展示

「Tokyo Mirai Park（日本科学未来館内）」に、2026年6月17日から約3か月間展示

- ミラノで発表した「mobility Fixtures」のうち「mobility KITCHEN」を、日本科学未来館内の「Tokyo Mirai Park」で国内初展示
- 動かせる水まわり設備の発想と、給排水設備につながずに使える未来のキッチンの可能性を紹介

「mobility Fixtures」とは…

住宅設備が自由に動かせるようになることで、「Unfixed Life – 何にも縛られない自由な暮らし – 」を実現する。そんな思想から生まれたのが「mobility Fixtures」です。独自の循環ろ過装置「reclean」を搭載し給排水と繋ぐことなく使用することができる新しい住宅設備です。



未来のキッチンとして展示された「mobility KITCHEN」

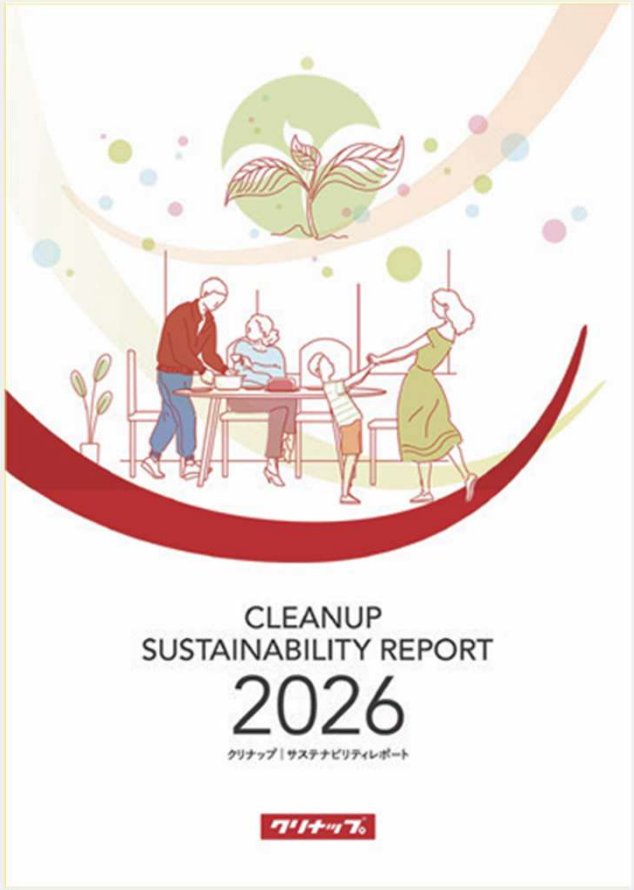


展示ブース内「夜」コーナー全景

サステナビリティ関連

サステナビリティレポート

「クリナップサステナビリティレポート2026」を公開



幅広いステークホルダーとのさらなる対話を目的に、ESGの取り組みを紹介。新社長メッセージと「クリナップのバリューチェーン」も掲載。

キッチン白書

「キッチン白書2026」を公開



クリナップのおいしい暮らし研究所が、食品や日用品の買い置き行動を調査。節約よりも「もしものときの備え」や「安心」を重視する傾向が見られました。

海外事業関連

アジア各国へ、ステンレスキッチンを中心とした商品・サービスを拡大

海外事業展開における重点的な取り組み

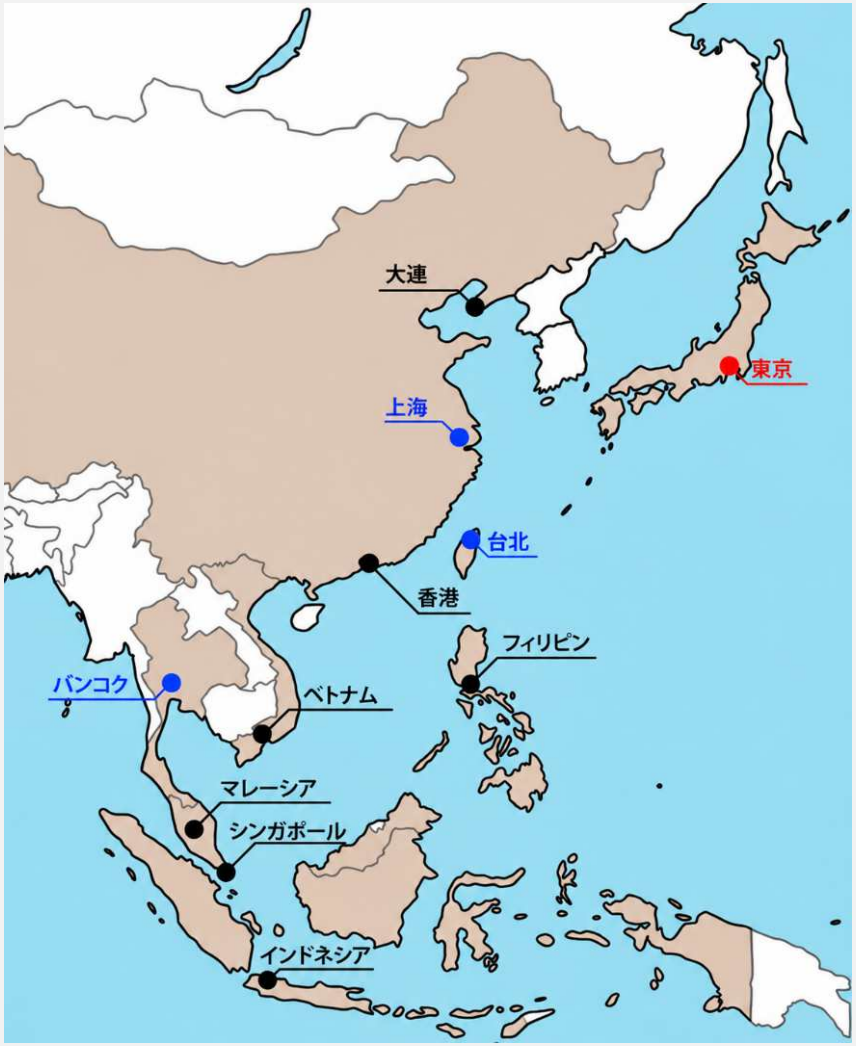
- ステンレスキッチン輸出拡大と海外市場における、SBR認知度向上を推進
- 中国、台湾の販売パートナー向け収納セミナーを実施し、販売品質の向上を支援
- 現地採用人材の増員により、販売店支援体制の充実を推進
- タイ現地生産品『R&Cモデル』の商品拡充とその他海外市場への展開加速



R&C







IRお問合せ先

クリナップ株式会社
総務部　広報・IR課
IR担当まで　ご連絡ください

Tel 03-3894-4771
URL https://cleanup.jp/

お断り事項

本資料は、2027年3月期の中間決算（2026年4月～2026年9月）の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は、2026年11月19日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証又は約束するものではなく、また、今後予告なしに変更されることがあります。